

戰後三行英國之南復及外國之替明類

六六九

中有信夫

大正拾年 壹月拾五日

戰後<sup>ニ</sup>於<sup>ケル</sup>英國ノ通貨及外國爲替問題。

*On Currency and Foreign Exchange  
in England after the War.*

本科三年A組

中村信夫。

高

(2)

戦後ニ於ケル英國ノ通貨及

外國為替問題

第一章 戦前ノ通貨制度

第一。 英蘭銀行ノ無準備發行及蘇格蘭銀行、愛蘭銀行等  
 行ノ紙幣ヲ例題トシテ、千八百四十四年ノ英蘭銀行令ノ下  
 ニアリテハ現ニ流通シワツアル通貨、及銀行準備金トセラ  
 レテ居ル通貨ハ(實際ニアリテハ)法貨ニアラザレドモ(戦前  
 ニ於テハ)金ク金貨及補助貨或ハ金ヲ代表スベキ紙幣ヨリ  
 成立セラレタリ。 金ハ何等ノ費用ヲ要セスシテ自由ニ造  
 幣局ニ於テ換化セラレ金ノ輸入ニ付テハ制限ハ更ニナシ。  
 英貨ハ何時ニテモ英蘭銀行ニ於テ券面額ヲ以テ兌換セ  
 ラレ金ノ輸出ニ付キテハ何等ノ障害ヲモ見出シ得ザリキ。  
 既ニ工製品トシテ用ヒ居タリシ地金ヲ貨幣トナス所ノ

体裁ハ普通ノ場合ニハ行ハレザレトモ(英蘭銀行ノ紙幣発行ノ根底ヲ作ルヤメニ外國ヨリ金ヲ輸入スル場合或ハ貨幣ノ本源ヲナス金ノ輸入ノ場合ヲ除キテハ法貨ノ増加ヲ来ス方法ナク、又法貨ノ消滅ヲ来スベキ年段ハ地金及英貨ノ輸出ヲ除キテハ十カリキ。但シ年ニ約百磅ノ巨額ニ上リ且通貨ノ供給ヨリハ其ノ一部分ノ之ヲ取ラレタニ工藝品ニ対スル普通ノ需要ハ例外ナリ。

第二。千八百四十四年ノ条令發布以來小切手制度ハ長足ノ進歩ヲナセリ。而シテ其条令ノ本質トモ謂フベキハ即チ購買力ハ大部分小切手ノ影響ヲ受ケル銀行預金及銀行ガ預金者ノタメニ保有シテ居ル預金並ニ貨銀ノ賣取引ノ支拂ト關係シテ居ル實際ノ一般流通ノ目的ニノ之ヲ要求セラルル法貨ノ形式ナリト謂フ所ナリ。該制度ニ適用

セラルベキ千八百四十四年ノ条令ノ規定ハ為替ノ逆調ナル場合ニ於テハ是ヲ整調シ、又法外ナル信用ノ膨脹ヲ来セシ場合ニハ是ヲ妨止スル此ノ兩者何レノ場合ニモ從立ナリ。

第三。為替ノ順調ナリシ場合ニハ金貨ハ自由ニ國外ヨリ而シテ此ノ法外ナル増加ハ貿易ノ擴張ヲ隨伴セリ。

貿易ノ均衡ガ逆ニシテ為替ガ逆調ナリシ時ニハ地金ノ輸出ハ有利トナレリ。自稱輸出商ハ金ヲ英蘭銀行ヨリ買入レ彼自身ニテ其ノ地金ニ対シ小切手ヲ以テ支拂ヒタリ。

英蘭銀行ハ其ノ準備金ヨリ引出セル紙幣ト交換ニテ其行却テ地金ヲ得タリヲ以テ其結果預金者及準備金ニ対スル負債ハソレ尠減少セラレタリ。從テ負債ニ対スル準備金ノ割合ハ削減セラレタリ。若シモ危険ナリト思惟セ

するに程一其割合が下ルカ如キ現象ニシテ頻繁ニ発生  
 セル時ハ銀行割引率ヲ引上げタリ。而シテ割引率ノ引上  
 ケハ、然ラザレバ外國ニ送金セラルカリシ貨幣ハ流出  
 セシメズシテ正之、高率ノ利益ヲ得ルヲメニ外國ヨリ送金  
 ヲ受ケルカ如キ直接ノ効果ヲモクシタリ。カクシテ  
 金ノ溢出ヲ防止シ流出ヲサシテ支持セリ。

第四。若シ為替ノ逆調ノ無状態ガ單ニ季節的ノ動盪ニ  
 基ク、之ヲ不永久的ノ逆貿易均衡ヲ現出セシムルカ如  
 キ傾向ニ基クモノトセンヤ、上述ノ方針ハ充分ナラザレハ  
 自明ノ事ナリ。其結果吾人ノ信用及在界金融ノ中心トシ  
 テ、倫敦ノ立場ニトシ結局災害ヲナセシ外國ニ對シ短期  
 ノ負債ヲ創造セシメタリ。乍而銀行割引率ノ高騰及必然  
 的ニ該市場ニ於テソレヲ有効ナラシムルニ用ヒタリ、半段

ハ利息歩合ノ一般的上騰及ビ信用ノ制限ニ導キタリ。  
 サレバ新投資ハ延期セラレ且組立材料及ビ他ノ資本財ニ  
 對スル需要ハ減セラルタリ。從テ又雇傭ノ減少ハ消費財  
 ニ對スル需要ヲ来セリ。然ルニ商品ノ所有者ハ大部分借  
 用金ヲ以テ仕事ヲナシ而シテ若シモ借金書ノ事實上ノ困  
 難及ビ價格ノ下落ノ豫想トテ以テ基礎薄弱ナ市場ヲ於テ  
 此ハ彼等ノ商品ヲ押シ付ケル傾向ナカリセバ利子費用ノ  
 増加ト對照セシメタリ。其結果ハ内國市場ニ於ケル一般  
 物價ノ下落ヲ見ルニ至レリ。而シテ其ノ内國市場ハ輸入  
 及獎勵シコフテ輸出ノ妨止トニヨリテ困難ノ第一原因  
 ナリシ逆貿易均衡ヲ矯正セリ。

第五。地金ハ外國流出ヲ例外トシテ内國ノ信用ガ無法  
 ニ膨脹セラレタル兆候ヲ示ス時ハ舊通貨制度ハ其膨脹ヲ

心制限之且以結局力カル流出ヲ来スルハ内国價格ノ當然  
 ノ高騰ヲ妨止スル傾向ヲ有セリ。無理ニ價格ヲ押上げル  
 事ニヨリテ信用ノ膨脹ハ一方ハ負債ニ向ケルル現金ノ  
 規準ノ割合ヲ維持スルヲ以テ銀行力ヲ、又他方ハ債銀ノ支  
 拂及以賣取引ノ夕々ニ一般公衆力ヲ、法貨ニ對スル需要ノ  
 増加ヲ惹起スルモノナリ。又此ノ場合ニハ力カル通貨ニ  
 對スル需要ハ英蘭銀行ノ積立ニ結局落付キナリ。其レハ  
 之カ夕々同銀行ハ其ノ負債ニ供ル準備金ノ割合ノ縮少  
 セラレルヲ妨ケルヲ以テ余儀ナリ割引率ヲ引上げルニ至  
 レリ。吾人ハ此處ニ論述セルト同様ノ結論ハ生じ来リテ  
 按捺的取引運動ハ同様ニ制限セラルナリ。一故ニ英國ニ於  
 ケル購買力ハ絶一不一般商品ノ在界の價格ニ未調ナク  
 銀行ノ力如キ自働的機械存セリ。内国價格ハ自働的ニ入

超ヲハ妨ケル様ニ調節セラルナリ。又銀行信用ノ創造ハ  
 恰モ銀行力多少嚴格ナル通貨制度ノ下ニ於テハ不可能ナ  
 ル政府ノ干渉ヨリ安全ニ放任セラル得ル如クニ整理セラ  
 レナリ。

第六。此ノ如キ設備ノ下ニ於テ英國ハ完全且以テ有効ナ  
 ル金本位制ヲ成就セリ。而シテ此ノ制度ノ本質ハ、紙幣ハ  
 常ニ總對的ニ額面額ノ金貨ト同價ナラズ且以テ又此ノ兩  
 者即チ紙幣及金貨ハ地金ト絶對的ニ同價ナラザルハ力  
 ナザルニテナリ。力カル條件ノ満足セラルル時ハ有効ナル  
 金本位制ヲ採用スルニ於テ一國ノ外國為替率ハ金輸送莫或  
 ハソレ以内ニ維持セラル。

第貳章 戰時中金本位制度ニ

及ぶ也の变化。

第一。 外國為替ノ數字が、千九百十五年初期以來起リツ  
 ヲアリシ昔時、輸出正貨輸送矣以下ニ落下セシ事ハソレ  
 夫ヲ金本位制ガ破壊セシ事或ハ無役ナリシ事、証明ニ非  
 り事ハ注意セラルベキ事ナリシ。 現時亂中敵國ノ潜水  
 艇ノ掠奪ノ高キ運賃並ニ金貨ニ對スル國家ノ保護ヲ擴張  
 スルヲメ、政府排斥ハ海外ニ金ヲ輸出スル原價ヲハ増加  
 セリ。 事實上輸出正貨輸送矣ハ此ノ故ヲ以テ其ノ昔時ニ  
 於ケル立場ヨリ遙カ遠ク力ケ障ヲレリ。 戰爭ニヨリ吾國  
 出ノ障害ヲ伴ヒテ輸入ニ對スル莫大ノ需要ノヲメニ申立  
 國トシ、殊為替ハ輸出正貨輸送矣ハ、方面ニ向ハザルベカ  
 ラザル事ハ当然ナリ。 従テ輸出正貨輸送矣ノ下落ハソレ  
 夫ヲ以テ吾國為替率ノ大下落ヲ説明スベシ。 力カレ下落

ハ假令有効ナル金本位制ノ總テノ條件ガ完全ニ維持セラ  
 レタリトスルモ、力カレ事情ナルヲ以テ起ラザルベカ  
 ンモナリ。

第二。 乍而戰爭ノ進展ハ金本位制ガ其効果ヲ失ヒタル  
 ノ結果ヲモケ来ラセリ。 戰爭勃發ノ危機、タメニ千八百  
 四十四年ノ英蘭銀行法ノ停止ヲ許ス事ハ必要ト考ヘラレ  
 タルノミナラズ英帝國ヲ通ジテ法貨トシテ一磅及十先令  
 對シ銀行券ヲ發行スルヲメニ大藏省ニ權力ヲ附スル事ヲ  
 モ亦必要ト考ヘラレタリ。 千九百十四年、通貨及ビ銀行券  
 條令ニヨリテ附與セラレタル權力ノ下ニ於テハ大藏省ハ  
 各銀行當座預金勘定ニ表ハルル負債額ノ二十パーセント  
 ヲ超過セザル最高限度ヲ限リ要求ニ從ヒテ要求ノ時ニ英  
 蘭銀行ヲ通ジテ其等ノ銀行ニ斯様ニ銀行券ヲ発行スル様

二任組之ヲリ。各銀行之發行セラレタニ紙幣ノ額ハ當座  
 銀行率ニテ利息ヲモクテ用立金トシテ取扱ハレタリ。  
 第三。千九百十四年八月初旬ニ豫想セラレタニ法貨ニ  
 対スル内國ノ需要ハ其丈ヲ其等ノ条項ニ範圍廣ク委存ス  
 ニ事必要ナルヘシトハ考ヘラレズ。乍而銀行ガ保証セラ  
 レタニ爲替手形ヲ割引シ且ソ信用擁護ノタメニ殆ト同時  
 ニ他ノ方策ヲ採ルガ如キ準備ト下ニ於ケル英蘭銀行ノ預  
 金者ノタメニ同銀行ニヨリテ創造セラレシ信用ハ銀行ノ  
 預金ヲ大ナクシムルニ至レリ。更ニ戰争資金ノ供給カ稅  
 又ハ公衆ヨリ集メラレタニ公債ニヨリテ額ヲ超過セシ時其  
 超過セシ部分ノ資金ニ對シ政府ハ英蘭銀行ノ信用ヲ必要  
 トセリ。カクシテ同銀行預金ノ總額ハ千九百十四年七月  
 一約五千六百萬磅ヨリ千九百十五年七月二十八日一約二

億七千三百万磅ニ増加セリ。爾來大分ノ減少アリタレト  
 毛目下(八月十五日)ハ壹億七千壹百八拾七万磅ノ高  
 度ヲ保  
 持ス。契約者ハ一支拂及株式銀行ハ一支拂ハ一タメニ其  
 等ノ仕事ニヨリテ作ラレシ差額ハ色々ノ戰時公債ニ向ケ  
 テルニ豫約金ト關連シテ債権ヲ作ルニヨリテ又擴張セラ  
 レタニ銀行預金ノ荒廢ノ根底ヲ形成シ來レリ。是等原因  
 ノ作用ノ下ニ於テ英帝國ノ銀行<sup>預金</sup>總額ハ英蘭銀行ヲ除キ  
 千九百十三年十二月三十一日ニ於ケル拾億七千六拾八  
 万壹千磅ヨリ千九百十七年一月同日ニ於ケル拾七億四  
 千貳百九拾万貳千磅ニ増加セリ。  
 第四。銀行預金ノ大増加即チ購買力ノ之ニ隨伴的增加  
 ヲ代表シ且之ガタメニ他ノ原因ト共ニ價格ノ大高騰ニ導  
 ク此ノ増加ハ千八百四十四年ノ銀行令ノ緊急条項ノ下ニ



于ハ満足ニ得ラレザリシ法貨ニ對シ隨伴的ニ需要ヲ喚起  
 出セシム。諸員師等ハ彼等ノ貨銀支拂書(物價騰貴ノノメ  
 ニソレ自身ノ價格ヲ上ケル事アルモ)ノ義弊ヲ果クスヲハ  
 二其ノ勘定ニ對シテ小切手ヲ振出サザルベカラズ。銀行  
 券ヲ絶ハズ銀行ノ事ハ中ノ通貨ヲ供フベキナリ。本章  
 第貳節ニ述ベタル年配ノ下ニテ前拂ヒノ方法ヲ以  
 テ紙幣ヲ得ル代リニ右銀行ハ英蘭銀行ニ於ケル孫高ヨリ  
 銀行若勘定ノ債權ハ一振替ニヨリテ全然紙幣ヲ以テ支拂  
 フ事ヲ得ナリ。而シテ紙幣ハ流通ハ益々増加セリ。  
 從テ政府ハ其等銀行ノ債權ニ斯様ニシテ振替ハソレシ現  
 金殘ニ對シ自己ノ担保ヲ代用スル事ニヨリテ其孫高ヲ借  
 入レルナリ。事實銀行ハ紙幣ノ振出サレベキ原因ナリシ  
 ヲ指定セラレリル方法ニテ法貨以上ニ之カ増加セリル

英蘭銀行ニ於テ彼等ノ孫高ヲ隨時ニ兌換シ得ル地位ニテ  
 リ。之ニ是等ノ銀行ハ前ニ於ケル制度ノ下ニ於テハ英蘭  
 銀行ノ積立金及英蘭銀行ヲシテ信用ノ過度ノ膨脹ニ對ス  
 ル規準ノ安全ヲ與ヘシムルニヨリテ新シキ法  
 貨ハカクシテ絶ハズ銀行サレ從前ノ如ク金ノニニ對シテ  
 銀行セラレルニ非ズシテ政府ノ担保ニ對シテモ亦銀行セ  
 ラルルナリ。明力ニ、孫高ヲ融通スル目的ニテ政府ノ夕メ  
 ニ銀行信用ノ創造ノ必要トナルニ及ビ其等ノ銀行ハ避ケ  
 ベカラザルニ至レリ。若シ其等ノ銀行ガ作ラザルモノト  
 センカ、彼等ハ得意先勘定ニ於ケル現金ニ對シテ振出セル小  
 切手ヲ支拂フベキ法貨ヲ得ル能ハザルベシ。其ノ結果ハ  
 英蘭銀行ニ於ケル信用ニヨリテ無制限ニ銀行券ヲ發行ス  
 ルニ至リ且政府ガ其ノ孫高ヲ得ルヲ採スル事ノ必

零十ニリ會得セリ。

第五。英國ニ於ケル銀行準備金及流通ノリノ法化是神助貸以外ノ額ニ及ボス其等ノ原因ニ付テノ影響ハ次ノ節ニテ紹介セシ。

第六。一九百十四年六月三十日ノ額ハ次ノ如ク見積リ

一 英國銀行ノ無準備発行額	一八、四五〇、〇〇〇 磅
一 金地金ニ対シテ発行セリ	三、八、四七六、〇〇〇 磅
一 銀行ニ保有セリシ金貨	一、七、九二六、〇〇〇 磅
一 見積額(英國銀行券発行額)	二、三、〇〇〇、〇〇〇 磅
一 及一般流通額	一、二、三〇〇、〇〇〇 磅

合計

一七九、九二六、〇〇〇 磅

一九百十八年七月十日ニ於ケル見積リ得ルニ相應數。

一 英國銀行ノ無準備発行額 一八、四五〇、〇〇〇 磅

一 金貨ノ準備ナキ銀行額 一、八、四七六、〇〇〇 磅

一 額割引ナク準備 二、三、〇〇〇、〇〇〇 磅

一 無準備発行額 二、四、八八六、〇〇〇 磅

一 金地金ニ対シテ発行セリ 六、五、三六八、〇〇〇 磅  
一 英國銀行紙幣額 六、五、三六八、〇〇〇 磅  
一 金準備ノ銀行券額 二、八、五〇〇、〇〇〇 磅  
一 銀行ニ保有セリル金貨 一、七、九二六、〇〇〇 磅  
見積額英國銀行券發行額ニ

保存セリル金貨ヲ際リ

四〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇 磅

總計

三八二、七三〇、〇〇〇、〇〇〇 磅

此ノ外ニ最後ニ記載セル數字ニ加ヘラルベキ一般公眾  
ノ手ニ未ダニ收メラレ居ル金貨ノ額モアル共然シ其額ハ  
知リ得ベキモノニ非ズ。

第七。英蘭銀行紙幣及ビ銀行券ハ何レモ要求ニ應  
ジテ金貨ヲ以テ英蘭銀行ニテ支拂ハルルヲ以テ常軌ヲ逸  
シテハ高價及ビ為替ノ逆調ト統ヒ付ケラレテ新紙幣ノ  
工ノ大ナル荒行ハ普通ノ状態ニ於テハ結局ハ完全ニ窮乏  
スベキ前兆ト下ニ銀行ノ金保有ノ急速ナル減少ヲ来スニ  
達スカルベシ。從テ銀行ガ其ノ總テノ金ノ流出ヲ認メテ

ニ非レバ割引率ハ非常ニ高キ平準ニ上ルニ達ヒテテ政  
府ニ要求サレシ債権ヲモ含ム銀行債権ハ妨害セラルベク  
價格ハ下落シ而シテ新紙幣ノ大部分ハ廢止セラルベク  
メニ回收セラルベクナリ。此ノ方法ニテ有効ナル金本位  
制ハ紙幣ノ扱ヒ惡シキ荒行ナルニ不拘維持セラルベシ。  
乍爾難時中ニ於ケル状態ハ平準ニハ非ズ。社会ハ内部  
的ノ目的ノヲテ銀行券ヲ用フル事ニハ満足スル。而シ  
テ為替ノ逆調ナルニモ不拘難事状態ハ金ノ輸出ニ対シ有  
効ナル實際的ノ妨害ヲ拂ムルニテナラズ金貨ノ鑄造シタル  
法律的禁止地金ノ輸入ハ英蘭銀行ニ於テ留係セラル居ル  
事實及ビ其ノ取扱ヒハ制限セラル居ル事實是等ノ兩事實  
ハ以前ニ貨幣トシテノ金ノ價值ト貨幣ナラザル金ノ價值  
トノ間ニ存在セル連鎖ヲ分離セリ。事實如何ナル範圍ニ

此一法債が地金一書葉之於其一位ヲ落セラルルヤヲ判  
断スル事ハ不可能ノ事ニ屬ス。然レ乍ラ此處ニ幾何カ  
其一位ヲ落サシ而シテ是カタノ其ノ範圍迄金本位ハ無後  
ナリト謂フ事ハ實際上確實ナリ。

第參章。 推舉セラルル金本位制

一維持ニ必要ナル狀

態ノ復活

第一。 吾人ハ今此處ニ蘇後直々ニ其局ニ當ルヲメテ採  
用セラルザルヤカラザル價格ノ測定ヲ置ク事ヲナサズ。  
其等ハ特ニ在界價格ノ一般活動及他國ニヨリテ採用セラ  
レシ通貨政策ヲ豫見シ得ザル狀態ニ歸スルモノナリ。  
而シテ英國ニ於ケル有効ナル金本位制ノ維持ニ必要ナル狀

態ハ最早存在セザル事ハ明白ノ事ナリ。而シテ其等ノ  
狀態ハ早刻挽回セラルザルヤカラザルニ免レ得ザル所  
ナリ。 蘇後吾國ノ金保有ハ潛航艇ノ危険ニヨリテ最早保  
護セラルザルニシ。 而シテ海外ヨリノ借用資金ニテ外國  
ト為替關係ヲ助長セシメタルヲメテ永久ニ續行スル事ハ不  
可能ナリ。 永ク間ノ經驗カ貿易ノ逆平衡及ヒ信用ノ不  
法膨脹ノメテ唯一ノ有効ナル救済法ナリ。 事ヲ示セシ其  
ノ機軸カ一度活動スルニ至ラザル時ニ此ノ國ニ於ケル信  
用ノ膨脹及吾國幣策行ノ復模範ニ其ノ國ノ國際的貿易ノ  
立場ヲ危険ニスル金ノ海外流出トノ非常ニ驚クベキ危険  
ヲ生ズ。 貨幣制度ノ不安定ハ林産葉ヲ不利ノ地位ニ置キ  
而シテ國際金融ノ中心トシテ吾國ノ立場ハ才ビヤカサ  
レ更ニ又在界ノ眼目タル吾國一般商葉ノ立場是カタメ向テ

セラル下シ。此等致命的ニ重大ナル事項ニ関シテ吾人ノ  
前ニ表ハレシ注視者ノ間ニ意見ノ差異ノ十カリニ事ハ吾  
人ノ光榮トスル所ナリ。

### 第四章 政府借用ノ停止。

第一。若シ安定ナル貨幣制度カ面設セラレ全本位制カ  
有益ニ維持セラルルナラバ政府ノ借用ノ事ハ斷後可成的  
早ク安ク没ス下キ事ハ吾人ノ判斷上必然ノモノナリ。  
信用膨脹ノ大部分ハ前述ノ如ク戰時中政府ノ費用カ政府  
加税金或ハ公債ニヨリテ人民ノ現貨蓄積ヨリ徴收シ得テ  
リシ額ヲ超過セル事實ヨリ生セシモノナリ。故ニ政府ハ  
英蘭銀行及株式銀行ニヨリ信用創造ニヨリテ貨幣ヲ得テ  
レガル下カヲザルニ至リ其結果ハ購買力ノ増加ハ購求シ

得下キ難財及勤勞ノ増加ヲ求セリ。既ニ吾人ノ述ベタル  
カ如ク不換銀行券ノ永續的ノ發行ハ力カレ事情ノ下ニ於  
テハ是非モナキ事ナリ。此ノ信用ノ膨脹(ソレハ海外負債  
額ノ過度ニ増加スル事ニヨリ必然的ニ隨伴セラレ)ハ戰後  
ハ吾金準備即チ國家ノ支拂能力ヲ嚴シクオビヤカス事ヲ  
續行スベシ。

第二。安定ナル信用組織ノ回復ニ必要ナル条件ハ目下  
英蘭銀行ニ保有セラレル政府ノ担保ノ巨額ナル部分ヲ支  
拂フ事ニナリ。可成的早ク國家ハ其ノ收入ノ乏ニ生キ不  
シテ其ノ負債ヲ減少シ初メザルベカラザル事ヲ推察スル  
モノナリ。然レ時ハ資本負債特ニ流動負債ヲ形成スル其  
等ノ負債ヲ毎年規則的ニ輕減シ得ベキナリ。力カレ負  
債ノ支拂ハ資本支出ノタメノ新シキ借用ニヨリテナスベ

カラズトナ事ハ吾人ニトリテ最モ重大ナル事ナリ  
 注意セザルベカラス。吾人ハ又戰後直々ニ面設ノ目的ノ  
 ナメニ種々ナル形式ノ下ニ國家ノ資本支出ニ對スル強烈  
 ナル壓迫ヲル事ヲ知ラザルベカラス。在而カカル支出ノ  
 ナメシ貨幣ハ新規ナル信用ノ創造ヲ以テナスベキニ非  
 事及カカル支出カ全然割策セザルハ大ナル注意ヲ  
 以テ企圖セザルベカラス事ハ存貯ナル金本位制ノ回復  
 ニハ必然ノ事ナリ。海外ニリ商品及ビ原料品ノ欠リ  
 カラザル供給製造採具ノ修繕及内國ニ於ケル運輸制度ノ  
 改善ニ對シ準備ヲナス必要ハ永ク間新資本支出ノナ  
 後立ツベキ財積ヲ制限スベシ。此ノ注意ハ蓄積及ビ他ノ  
 装置セル仕組ノ遠大ナル計劃ニ特ニ適應ス。真ノ資本ノ  
 不足ハ真ノ財蓄ニ由リテ充足セザルベカラスナルモ

ニシテ政府ノ保証及其他ノ手段ノ下ニ政府或ハ製造業者  
 ニ對シ銀行前借ノ形式ニ由リ新ニ中購買力ノ創造ヲ以テ  
 満足セザルニ事能ハザルモナリ。而シテカカル得策ナ  
 ル所等カノ手段ハ惡ク增長ニ得ルノミニテテ恐ラクハ永  
 ク間ニハ懸峙中始ケラレタニ損定カク其國ノ救済スル事  
 ヲ阻止スベシ

第五章 英蘭銀行割引率ノ

利用

有効ナル金本位制ノ下ニ於テハ金ニ對スル統テノ輸  
 出需要ハ自由ニ充足セザルベカラス。ソレ故ニカカ  
 ル金本位制ノ回復維持ノ更ニ重要ナル条件ハ即チ金ノ海  
 外輸出カ金準備ヲ減ガセントスル時或機械ハ其ノ流出ヲ

好止スル夕メニ存在スバシト謂フ事ナリ。此ノ目的ノ  
 ヲニ認メテレシム様林コソ英蘭銀行割引率ナリ。然前ニ  
 於テ銀行準備金ノ減少セラルタル時ハ常ニ割引率ハ上騰  
 セラレタリ。前述ノ如ク此ノ事ハ一般ニ法貨ニ付スル率  
 ニ反應スル事ニヨリテニ方面ニワタリテ妨害セヨ。即チ  
 一方ニ於テ上騰セル貨幣率ハ直接ニ此ノ国ニ金ヲモタラ  
 スカ或ハ豫サレシム金ヲ此處ニ保持スル傾向アリキ。又  
 他ノ一重ニ於テハ商業ノ目的ノ夕メノ公債ニ付スル需要  
 ノ減スルニヨリテ貨幣率ハ費用ヲ妨ケ且之ヲ以テ吾国ニ  
 於ケル價格ヲ底減スル傾向ヲ存シ是カキト當然ノ結果ト  
 シテ輸入ガ不賑トナリ反社ニ輸出ハ興賑セリ。力クシテ  
 為替ハ順調ニ変化セシナリ。此ノ二重ノ妨害ガ規則正シ  
 ク維持セラルルニ非レバ總テノ通貨制度ハ危殆ニ陥ルベ

キナリ。金ノ流出及ビ割引率ノ高騰トノ間ニ於ケル連鎖  
 ヲ維持スル事ハ準備金ノ安全ニハ欠ク下カザルモノナ  
 リ。為替ノ逆調而シテ金ガ流出セラルル時ハ吾国ニ於ケ  
 ル割引率ハ他国ニ於テ支配シワツアル率ニ同連シテ上ラ  
 ガルヲ得ザルハ必然ノ事ナリ。然後直チニ此ノ事ガ實際  
 ニ必要ナルヤ否ヤハ吾国ニ於ケル金ノ價格ガ事実上在界  
 何レノ国ノ金ノ價格ヨリモ高キヤ否ヤニ在セラルルモ  
 ノナリ。目下價格ハ全体トシテ高キハ事實ヲシテ見ユル  
 ト虽モ然シ若シ何レノ国ニ於テモ信用ノ膨脹ガ急速ニ進  
 續スルナラバ結局ニ於テ力クノ如クニナリ得ザル事ハ必  
 然ナリ。

第六章

推奉ニ得ザル内外貨幣

差別率の継続

兩建設の時代中而之ヲ恐ラリハ此ノ後永ク間ヨシ  
 ハ為替逆調ヲ示スト虽モ吾國ニ於テハ家内工業ニ対シ貨  
 幣ヲ外國ヨリモ安ク保ツ事乍所内國貨幣ト外國貨幣ト  
 二差異ヲ生ジツアル現在ノ實際ヲハ此ノ上継続スル事  
 二ヨリテ金本位制ヲ保持スル事ハ可能ナリ且又望マ  
 シキ事ナルハ既ニ吾人ノ面前ニテ討議セラルリ。比較  
 的底キ率ハ内國貨幣ニ提供セラル内國公債支拂ニ供セ  
 レザル下カヲザル事ハ認メラル。然ルニ金ハ同時ニ外國  
 貨幣ニ対スル高率ノ提供ニヨリテ海外流出ヲ妨ケルナリ。  
 吾人ノ考ニヨリハ國際友誼ノ方法ニ於テ現在ノ障害ガ  
 除去セラルルヤ否ヤ此ノ差別ヲ維持ス下キ如何ナル試ミ  
 毛破壊セラル下シ。之人々ガ得テ外國率ニテ借リ而シテ

高キ外國率ニテ兩貨ノタメニ或方法或ハ他ノ方法ヲ工夫  
 申スル事ヲ妨害スル難ハ実行ニ難キヲ以テナリ。仮令ソ  
 レガ全然妨害セラルルト虽モ吾人ノ考ニテハソレハ畢竟  
 吾國ノ金融及ビ產業ノ回復ノタメノ最大ナル災害ナルガ  
 如キ暴徒ノ荒叫ノ自由ニ対スルカクノ如ク緊急ナル制限  
 ヲ維持スルニヨリテ妨害セラルルノミナリ。乍而若シモ  
 従前ノ暴徒政策ノ如ク差別ガ実行的ノモノナリシ時ハ吾  
 人ノ考ニテハ望マシカクザル事ナラズ。何トナレバ何ナ  
 内國率ハ大公債ニヨリ且其様ニ價格ヲ支持スル事ヲ助長  
 スルニヨリテ金輸入ノ賑與、輸出ノ不賑ヲ継続ニ得ルヲ以  
 テナリ。サレバ且シニ外國貨幣ニ対シ提供セラルレシ高  
 キ率ガ金ヲ海外ニ出ス事ヲ止メタリトスルモソレハ黃  
 國人ヨリ他國人ニ絶ヘズ幕リワツアル負債増大ヲ豫知ニ



して十ス、二十ル、同時ニ又輸出ヲ増加セシメ、以  
 于吾國ニ必要ナル原料品ノ輸入ニ於テ借用シ以テ原料品  
 ノ代リニ米合衆國及其他ノ國ニ於テ借用シ以テ原料品  
 ノ輸入ノ夕々ノ支拂ヲ続行スル事ハ必要ナルベシ。力ク  
 して外債ノ更ニ大ナル負債ヲ負ハスナリ。此ノ課程ハ不  
 規則的ニ繼續スル能ハズ、早カレテ力レ破壞スルハ  
 運命ヲ存スルニ及ビナリ。故ニ吾人ハ遂ニ爲替ノ場合ニ不拘  
 貨幣ヲ高クスルノ必要ハ差別率ノ方法ニ正リテ避ケ能ハ  
 ザルト同時ニ又ナリ、ベキモノニ正リテナリ。

第七章

紙幣発行ニ伴フ法律

上ノ制限ノ必要

第一。上述ノ議論ハ紙幣発行ノ法律上ノ整理ノ一般  
 的

問題

一、密接ナル關係ヲ有ス。而シテ期間中貸付率ニ于テ

幣ノ充分ナル供給ノ準備ヲ可能ナラシムルヲ一更ニ新  
 シキ銀行券ハ創造セラレザルベカラザル事ハ殊方重ニ於  
 于強強セラレナリ。而シテ其ノ創造ノ目的トスル所ハ即  
 ち該貨ニ對スル一般公衆ノ要求ヲ満足セシムルヲ一銀  
 行自身ニハ現金不足ノ危険ヲ示サズ、銀行ヲシテ大十  
 此ノ債ヲ產業界ニ募集セシムルニ在リ。此ノ種ノ方策ハ  
 金本位制ヲ存続ニ維持スル事トハ兩立セザル事ハ明カト  
 也。若シソレガ採用セラルルナラバ金ノ溢出ニハ何等ノ  
 阻止ヲ来サズ。遂ニ爲替ハ英國内ノ商賈ノ價格ヲハ一般平  
 準ニ更ムル事ニ正リテハ直接ニ正解又間接ニ正解正セラ  
 ルベキニハ非ズ。及テ之ノ餘分ノ銀行券ノ發行ハ價格ノ上  
 騰ヲ来スベキ傾向ヲ示スカ如キ状態ヲ刺激スルヲ以テ狀

然ハ正確ニ益々逆トナルベシ。其結果ハ総テ一吾金貨ノ  
損失ニヨリテ金本位制ハ破壊セラルルナリ。

第二。新銀行券ノ<sup>紙幣</sup>継続的発行ニヨリテ貨幣ノ價值ヲ切リ

下ルル方策ハカクノ如ク全然金本位制ノ維持トハ而立セ

ザルモノナリ。カカル政策ハ結局唯單ニ兌換率ニ得ザル

銀行券及ビ外國為替ノ衰退トナリ其結果ハ國ノ金商業組

織ニ迄累ヲ及ボスニ至ルベシ。然レ此ノ關係ニ付テハ吾

人ハ此處<sup>ニ</sup>説明ヲ試シントハセザルナリ。尤モ結果ハ金ノ

輸出制限及ビ外資輸入ニヨリテ一時ハ延期セラルベシ。

乍而蘇後カカル政策ノ継続セラルル時ハ遂ニハ避ケカク

テ而シテ延期セラルベキ救済策ヲトルノ外道ナキニ至ル

ベシ。疑モテテ英蘭銀行ハ株式銀行ノ援助ノ下ニ而シテ

銀行券発行ニ對スル何等ノ法律上ノ制限ナクシテ公債ヲ

妨ケ價格ヲ切リ下ケ而シテ其後ノ銀行券ノ需要ヲ止メル

テメニ割引率ヲ高ク維持スル事ヲ得。然レ之同銀行ハ此

種ノ事項ニ當リテハ非常ニ壓迫ノ下ニアル如ク全責任ヲ

銀行ノ分別ニ委ヌル事ハ望マシカザル事ナリ。若シモ

彼等カ自由ニ紙幣ヲ發行シ得ル事ヲ知ルナラバ、怠慢ナル

公債政策ヲ採用スル誘惑ナルヲ案ニ大ナルモノアルベシ。

サレバ此ノ無責任發行ハ十サレ<sup>ズ</sup>カ<sup>ズ</sup>リ又ソレニヨリ

テ金本位制ヲ危ラスルト謂フ事ヲ確ルルヲ大ニ吾人ノ志

ニテハ無準備發行紙幣ノ發行ハ実行セラレルニ於テ今一度法

律ニヨリテ制限セラレザルベキ事及ビ英蘭銀行ノ

額預金カ金融新ノ準備ニ關係ナク、法債ト交換セラルル現

在ノ制度ハ可成的早ク完成セラルル事ノ兩者ハ避ケ得ル

カクザル所ナリト思フ。金ト交換スル場合以外ニ金ニ對

又此需要ノ増加ハ英蘭銀行ノ準備ヨリ之ヲ充飽也其  
ハカヲザル也一之ヲ大藏省ニ正ルニハ非ズ。此ノ故ヲ  
以テ不名ナル銀行ニ對スル必然的ノ防止策ハ規則的ニ行  
ハレタリ。後述スル銀行券ニ關スル特種セル設備ニ從  
ヒ且又大英國ノ法律ノ部分ニ付テ問題ヲ取扱フニ至リニ  
時說明セザルハカヲザル蘇格蘭愛蘭ニ關スル特別ナル設  
備ニ從ヒ吾人ハ紙幣發行ノ現存セル個人銀行ニ關スル場  
合ヲ除キ英蘭銀行ノ半ニ金ヲ卷キ不スル。即チ紙幣ハ勸信  
教一之ニ於テ金ト交換セラレ且大英國ヲ通ジテ一法貨ヲ  
ヲザルハカヲス。

### 第八章 紙幣發行ノ監理機關

第一 吾人ハ既ニ金本位制ノ保留維持ノ基ヲ所ノ原則

ニ論及セリ。此處ニ於テ吾人ハ今其等ノ原則ノ遵守ノ最  
モ有効ニ確保セラレ得ル紙幣發行ノ監理ニ關シ特別ノ機關  
ヲ考究シ且フ若シ變化カアルトシテ十ヲ八額前ニハ如何  
ナル變化ガ強制的制度ニテハ望マシニカ或ハ許サレ得ル  
ヤヲ究メザルハカヲス。

第二 吾人ノ最初ニ考究スルキハ即チ要求ニ應ジテ撰  
金セラルル英蘭銀行紙幣及銀行券何レニ對シテモ支拂ハ  
ザルハカヲザル事ヲ義務付ケラレル以上吾人ノ考ニテハ  
有効ナル金本位制ヲ維持スル事ハ必要ニハ非ルハナラ且又  
金貨ノ内國流通ノ迅速ナル回收ナカレハカヲザル事ハ地  
マシキニ非ズ。現立ニテアリテハ兎モ尚モ吾人ハ金ハ流  
通シワワアル紙幣ノ回收トシテ中央準備ニ保有セラレザ  
ルハカヲザル事ハ非常ニ至濟的ナルハナラ考ラレニテ十

11. 而シテ吾人ハ此ノ問題ニ付テ何事カノ立法ヲ要スル  
 トハ考メザルナリ。從來一般ノ人々ハ紙幣ノ使用ニ慣レ  
 居リシヲ以テ、外國ニ旅行セシトスル人々ニ付テハ制限的  
 ノ要求ヲ例外トシテハ目下彼等ガナラズル如ク紙幣ヲ以テ金  
 貨ノ代リニ流通スル事ヲ續クニナラズ。銀行側ニテハ半  
 輕テ方法ニテ要求セラルル總テノモノヲ成就セシ事ヲ期  
 待スル。乍然吾人ニ付テハ金貨ニテ支拂ヒテ受リテ  
 紙幣所持人ノ權利ヲ維持シ且金カ内國流通ニ流シ込ム  
 止レルヲメテ前記セシ簡便テ方法ヲ吾人ハ信セザルカ  
 ラスト雖モ必要ニ應ジテ金貨ノ流通ハ英蘭銀行ノ半加減  
 ニテ紙幣ヲバカカレ金ヤ金棒ニ兌換セシムル事ニヨリテ  
 妨害セラルルヲ得タリ。

第三。 次ニ金輸入ガ總テノ制限ヨリ自由トナル事カ有

効ナル金本位制ノ必要條件ナル限リハ英蘭銀行州以外ニ  
 テ得ラレタル金貨及ヒ地金ノ輸出セラルル事ヲ許スベキ  
 ニハ非ズ。英蘭銀行ガ總テノ金輸出ヲ認ムベキ事ハ便阻テ  
 下ニト留テ事實ニ関シ、吾人ハ如ク考テナリ。即チ金地  
 金ノ輸出ハ、其等ハ英蘭銀行ガ或目的ノメテ之得タルモノ  
 ナルベキ事ヲ地マシテ考テナリ。作ラレタル金ハ規定  
 ノ恰好ナル價值即チ一七パーセントヲ含ム高貴ノ軟ニテ  
 ルニ非レバ地金ナリト考テ下カラズ。英蘭銀行ハ其ノ銀  
 行ノ紙幣ト交換ニテ輸出ノメテ金ヲ積貯スベキ義務ヲ  
 有。是等ノ條件ハ通貨ト地金トノ間ニ同等ノ價值ヲ維持  
 セシムルニ充分ナリ。何トナレバ金ノ輸入者ハ市場ニ於  
 テ或ハ英蘭銀行ニ於テソレヲ自由ニ賣ル事ヲ得レバナリ。

第四。 第三ニ流通中ヨリ金ヲ引込マセシ事ニ關シテハ

英國の金準備ハ或一口の中央機關ニ有セラルル事ハ吾人  
 一考トシテハ望マシキ事ナリ。而シテ此ノ故ヲ以テ吾人  
 ハ總テノ銀行ハ現在存スル若干ノ金ヲ英蘭銀行ニ振替  
 ナル下ナラス。但シ其等ノ銀行カ旅行ノ便阻メテ之ニ保  
 持スル事ヲ必要トスルカ如キ小額ノ金ハ例外トシテ振替  
 ヒスルヲ要セザルナリ。吾人ノ意見トシテハ金貨ノ鑄造  
 シテ禁止ハ固クナリテハ維持セザルナリ。力ナラス。  
 第五。吾人ハ無準備銀行カ將來決定セザル下キ基礎ニ  
 関シ吾人ノ前ニ擧ハレル種々ノ提言ニ付テ熟考セリ。  
 英蘭銀行ニ之ノ割引率ノ引上ケヲ以テ信用ノ法外ナル膨  
 脹ヲ有効ニ妨グルヲメテハ余リ多ク一時關口ヲ要スル事  
 及ビ千八百四十四年ノ命令ノ嚴格ナル制限ニ之ヲ法貨ノ  
 流通ヲ結果スル事ニ付テ論述セリ。其ノ命令ノ停止ヲ必

要トセシ本質的ノ危機ハ千八百四十七年、千八百五十七年、  
 千八百六十七年ニ起リ最初ノ一回ノ時ニハ紙幣ノ法律ニ  
 之ヲ訂定メラレリ最高額ヲ突破シテ英蘭銀行ヨリ實際  
 ニ発行セラレタリ。而シテ又此ノ意味ニ於テ明力ニ其等  
 ノ嚴格ナル制限ハ更ニ融通ノ利ヲモノニ變へラレザル  
 カラザル事ヲモ海也リ。此ノ目的ノメテ之ノ次ノ重ナル原  
 則ハ單獨ニテ或ハ又統合ニテ種々ナル注目ノ下ニ吾人ノ  
 前ニ置カレタリ。

(一) 英蘭銀行ノ金融部ト銀行部トハ統合セラレザル  
 下ナラス。

(二) 紙幣一磅ニ付テ一磅ヲ準備スル事ヲ要求セラ  
 ルル代リニ追加紙幣ノ発行ハ自由ニ許ナレザル  
 下ナラス。然レ之ハ單ニ規定セラレザルニ制約ナ

総銀行 / 割合かソレ丈償ハレカレハカズト限  
条件ニ於テ / 之許サレバキナリ。

(三) 最高準備銀行ニ付スル絶対數カ或ハ適否セル  
根據ニ基キテ決定セラレタレ最高額ノ何レカカ  
法律ニヨリテ規定セラレバキ限リ、準備ハ、英蘭銀  
行ニテ政府ニ付シ割合ニヨリ支拂ハルル税金ノ最  
高額ヲ超ヘラレ増加額ニ付シテ作ラレザレバカ  
ズ。

之等ノ種々ナル主張ニ依リテ吾人ハ今強ク進トントス。  
第六。先ヨ第一ニ英蘭銀行ニ於ケル此ノ一部ノ統合ニ  
ヨリ主ナル効果ト限フナラソレシハ、因テ紙幣カ存スル如  
キ換金性ハ英蘭銀行ニ於ケル預金ヲ以テ代ラシメ得ルト  
謂フ所ニアルベシ。此ノ変化ノメキニ現立ノ制度ノ下ニ

於テヨリモ、ヨリ大ナル担保カ其ノ預金ニ奉ヘラレキ事  
ハ強カリ。然レ然考ノ後吾人ハ之ヲ推拂賞スル能ハス。  
預金ハ因テ金融新ニアル準備ノ在担保ヲ有シ而シテカカ  
ル多クノ担保ノ或物ハ紙幣ノ担保ノ直接ノ費用ナレ事ハ  
明カナリ。吾人トシテハ通貨ノ發行ハ嚴重ナル法律ノ規  
定ニ從フベキ事ハ望マシキモ、ト多クナリ。然レ然金融  
事業ハ國家ノ干渉ヨリ出来ルカケ自由ニセラレザレバカ  
ズ。吾人ハ其ノ一部ノ統合ハ結局ハ一般ニ銀行信用ノ  
創造ニ依リテ國家ノ監督ヲハ有然導クベキ、吾人ノ認ムル不  
時ノ事業ハ銀行カ産業ノ要救ヲ充ヌ事ヲ得ベキ金融性  
能幸ヲハ大ニニ好クベシ。

第七。英蘭銀行ニ若シ合同セザレバ、英蘭銀行發行部  
ニテ保存セラレル総銀行額ノ一定割合ニ、之ニ從テ、何等制

限ナク無準備発行ヲ許スベキ提案ハ次ノ理由ノ下ニ見ユ  
 人ニハ不都合ナルカノ如クニ見ユ。若シ *Serwan*  
*Reichsbank* 二一般ニ起ルカ如ク他ノ規定カ比ノ割合ニ  
 ヨリテ定メタルトモ最高限度ヨリモ非常ニ低ク實際ノ  
 紙幣発行ヲ維持シ居ルトセシカ其ノ割合ハ何等ノ効ナク  
 又何等ノ結果ヲ生セザルベシ。右所若シ現在ノ紙幣  
 行カ實際ニ其ノ割合ニ支配セラルルトセバ其ノ半既ハ非  
 常ニ恐ロシキ紛騷ヲ持来スニ至ルベシ。例ハハ紙幣ニ對  
 スル金ノ割合ハ實際ニ於テ三分ノ一ニ定メラレ効果アリ  
 ト仮定セシ。然ル時ニ若シ輸出ノ下メノ金ノ引出シカ前  
 記ノ限度以下ノ割合ニ切り下ゲラレバ紙幣ヲハ一  
 ニ減スルニ至リ割合ニ引込マシムル事ヲ要スルナリ。制限  
 カ實際ニ十サレニ無狀態ニ接近スル事ハカクシテ十八百

四十四年ノ命令ノ制限ヨリモ更ニ大ナル不安ヲ導クナリ  
 下シ。

第八。若シ株式銀行自身が大ナル金準備ヲナシ而シテ

内部的或ハ外部的ノ金ノ流出ニヨリテ<sup>鬼</sup>海峽銀行ノ  
 金準備カ欠乏スル場合ニ其欠乏ヲ充償スルヲ及ビソシ  
 カクメニ流通シワツテ紙幣ヲ引込マシムルノ要ナカク  
 シユルヲメニ其ノ金準備カ割甲セラルベキモノト  
 リトセハ前節ノ結果ハ疑モナク一時除去セラルルヲ得ベ  
 シ。右所貨幣率及ヒ信用ノ制限ニ當シテ等シキ手段カ若  
 シモ實際ニ減カセル時ハ必要ナルベシトシテ採用セラレ  
 タルニ拘レバ比ノ救済法ハ一時の緩和策トナリ終ニ事ハ  
 自明ナリ。十セシレハ金ノ流出ヲ生セシメタリ原固ハ何  
 事ノ障害ナク續行スルヲ以テナリ。他方ニ又或者カ主張

之千居に於て若し毛株亦銀行が斯く事変に際し自分等  
 二并ん接助を考へるに至り、加へて持来せる金と交換の  
 紙幣を得る権利を與へられ、更に又無準備銀行紙幣を發行  
 する事に従事する権利を附與せられりトセシカ、結局に、  
 其の権利が行はるる限り、入り来しる金ハ、然らざれば流通  
 款の減に千金を維持し或ハ流通額を減する金割金を復  
 興せしめたりしと云ふ効果ハ無為とするに至るべし。  
 然るに英蘭銀行の信用制限、政策方必要トナリし時、新  
 しく中債甲を創造する事ハ、維持的の義務、下すべしか  
 如く危険な地位に置かれりべし。

第九。別之吾人の勸諭、商業會議所ニヨリて提案せら  
 べり、最高割合(即ち英蘭銀行紙幣発行の割合)三三、三分  
 一パーセント、銀行券若し発行の割合二〇パーセントヨリ

二五パーセントハ吾人の意見トシテハ全然不適當ナル下  
 中事の注意スべし。此の二種ノ発行の割合を金割合ハ  
 其の現在保有せし居るヨリモ事實ニ於て少し。

Manchester 商業會議所ハ紙幣の割合を金割合ハ  
 四〇パーセントとせらざればならざらずト主張スレトモ

Sir Edward Holden 意見ハ即ち英蘭銀行ハ発行せられり  
 紙幣及預金の交換の銀行、総負債の関する金は、其の  
 其の割合の注意せざるべからずトスルニヤ。乍ら上述  
 の理由の基に吾人の意見ハ、何ぞカ、割合の比、國の  
 紙幣発行の基礎件ナル事ニハ重大ナル矛盾アリト謂フ滿  
 場一致ノ結論ニ到達セリ。

第十。第三ニ孫レハ最高割合ノ限度ハ政府ニ於て  
 租税ノ支拂額ニ超過スル事ヲ得ルノ条件ニ從ヒ、無準備券



行ニ比シテ限度ヲ定メシトスルニ計劃ナリ。若シモ力カニ租  
 税カ妨ガレバナラズ、如何ナル公益モ緊急銀行ノ結果トシテ  
 ハ英蘭銀行ニ生セザル事ハ充分ニ確メザレバ力ヲ加ルハ  
 明白ナリ。此ノ利益ノ大新令ハ融通カ市場ニ生ラズルニ  
 時ノ利息亦金ニ必スヤ差リテ以テ利息亦金ノ將來ノ方向  
 ニ莫クニ大ナル不安定ニ休テ吾人ハ力カニ租税ニ所ニ安  
 全ニ操甲セテシ得ル數字ヲ指定スル事ハ固下実行ニ終  
 止ル事ト思フモナリ。規準ノ無洋備銀行ガ莫クニ緊急ナ  
 ル場合ヲ豫メテハ起邊セテシカレ事ヲ確實ニスルタメニ  
 充分ニ嚴シク割合ヲ定メ、ソレヲ以テ嚴格ナル制限期間一  
 之行ハルルニ非レバ此ノ制度ハ權投機ノ危險ヲ大ニシ且  
 口ニリ以テ緊急ナル保護ガ金ヲ妨ガレタメニ危險ヲ甚  
 セシムルナリ。此ノ批評ハ事實ニ於テ獨正ノ計劃ナリ。

而シテ吾人ハ亦ナラズ、十ニ其米金衆國ニ於テ力カニ方  
 法ヲ如何ニ行ヒ居ルヤヲ知ラズ。若シモ英國ニ於テ此ノ  
 方法ヲ採用スルニ決セントスルカ、事實ニ於テ不法ナル界  
 限ナル下キヲ示ス最善ナル採用スル事ハ、吾人ニ於テ  
 第十ニ。律々ナル研究ニ且リテ発表セラレタリシ外國  
 ニ於テ流轉行セシ制度ノ比較ニ當リテハ、其等ノ國ハ實際  
 ニ於テハ、英國ガ國際金融ノ非常ニ重要ナル地位ニ居ル理  
 由ニ及リテ維持スル義務アル所ノ絶對的ニ自由市場ヲ  
 事實ニ於テ維持セザリテ事ヲ指摘スルニ。故ニ割引率ヲ  
 落付カスルタメニ手段トシテ採用スル事ハ彼等ハ知り得  
 ルナリ。而シテ其ノ割引率ハ此ノ目的ノタメニ且ニシテハ  
 成功セリトスルモ吾人ガ試ミントスルニハ不得策ニシテ  
 且又危險ナリ。

第九章 推舉セラルル 一九一四年

英蘭銀行令ノ原則ノ維持

前述ノ種々ノ意見ヲ注意セルニヨリ吾人ハ全般ニシテ  
 其ノ至要ニヨリテ金ノ立証セラルル一九一四年  
 令ノ常理ハ維持セラルザルベカラズト謂フ意見ヲ有ス  
 ルニモ十ノ。即チ英蘭銀行ノ制<sup>度</sup>ヲサザルベク而シ  
 于此ノ無準備銀行ヲ起過セ<sup>ル</sup>場<sup>合</sup>ハ紙幣ハ吾人カ後ニ推  
 察ス<sup>ル</sup>中嚴重<sup>ナル</sup>配<sup>ニ</sup>從<sup>ヒ</sup>テ金ト交換セラルル事ニ正  
 リテ<sup>シ</sup>之<sup>ノ</sup>發行セラルザルベカラズト謂フ意見ナリ。  
 一九一四年六月廿二日現行銀令ノ勅<sup>令</sup>英<sup>蘭</sup>迄ハ同令ニ付テ疑  
 ナク<sup>シ</sup>之<sup>ノ</sup>要<sup>要</sup>ニ<sup>シ</sup>テ<sup>カ</sup>リ<sup>シ</sup>事ハ注意ス<sup>ル</sup>ニ<sup>シ</sup>テ所<sup>ナ</sup>リ。  
 英令ノ嚴重ナル原則カ常ニ危険ナル英<sup>蘭</sup>ヲ止ム<sup>ル</sup>ノ効<sup>力</sup>ヲ

有<sup>ニ</sup>且原則カ極メテ稀ニテ<sup>モ</sup>例外ノ場<sup>合</sup>ニ<sup>シ</sup>テ制度ヲ  
 採用ス<sup>ル</sup>ノ至要カ未<sup>ダ</sup>不<sup>充</sup>令ナル時ニ英令ノ作用ノ初程  
 ナ<sup>ル</sup>時<sup>代</sup>ニ限<sup>ル</sup>ル<sup>ル</sup>場<sup>合</sup>一<sup>時</sup>如<sup>シ</sup>密セ<sup>ル</sup>ヲ<sup>シ</sup>テ<sup>テ</sup>リ<sup>ニ</sup>事實ハ此  
 ノ<sup>ノ</sup>統<sup>一</sup>海<sup>洋</sup>ヲ<sup>無</sup>効<sup>ニ</sup>セ<sup>ル</sup>カ<sup>レ</sup>ニ<sup>モ</sup>ト<sup>モ</sup>吾人ハ思<sup>フ</sup>ナリ。廿<sup>七</sup>日  
 人ハ英蘭銀行ノ發行部ト金融部トノ令<sup>令</sup>及<sup>ビ</sup>一<sup>週</sup>間<sup>間</sup>回收  
 ノ<sup>ノ</sup>現在ノ形式ニ<sup>テ</sup>於<sup>テ</sup>英<sup>蘭</sup>ノ事ハ維持ス<sup>ル</sup>ベ<sup>ク</sup>ナ<sup>ル</sup>ヲ<sup>シ</sup>テ<sup>テ</sup>  
 ナ<sup>ル</sup>ス<sup>ル</sup>ナ<sup>ル</sup>ニ<sup>シ</sup>テ<sup>テ</sup>ナ<sup>リ</sup>。

第十章 推舉セラルル 準備通貨ノ發行ニ關

スル 一九一四年令ノ事項  
ノ制限

第一。右ノ前章ノ統<sup>一</sup>海<sup>洋</sup>ハ<sup>ハ</sup>非常<sup>ノ</sup>困難<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>テ<sup>ニ</sup>時<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>緊  
 急<sup>ノ</sup>通貨<sup>ノ</sup>發行<sup>ノ</sup>ヲ<sup>シ</sup>テ<sup>テ</sup>第<sup>一</sup>項<sup>ノ</sup>後<sup>ノ</sup>カ<sup>レ</sup>ル<sup>ル</sup>ニ<sup>シ</sup>テ<sup>テ</sup>一九一四年

年、案令ヲ力ク改ム事、可能性ヲ過是ニテ考フニ妨  
 ヲカシナシ。疑ニテ事、九百十四年ニ先立テテ以テ是  
 人ハ国会ヨリ保証ニヨリ彼等ヲ改テ置テテ而シテ破  
 ンルカヲサシ法律ノ可能性ヲ免陸ニセシ事ハ充分ナリ。  
 然レ吾人ハ全体ニヨリテ此ノ處置ニ對スル各方面力  
 ヲ一反社ニ共鳴スルモノナリ。故ニ吾々意見トシテハ大  
 藏省ノ同意ニテ英蘭銀行カ時々法律ノ制限ヲ越ヘテ糾帯  
 英行ヲテス、九百十四年ノ銀行券銀行糾帯案令第三節ノ  
 案項ハ強制改メ持續セラレバキニト考フニナリ。国会  
 ハ兩院ノ前ニ置カシガニ下カテサシ大藏省起議ノ方法ニ  
 之ニ比テ案項ノ下ニ於テ大藏省ニヨリテ採用セラレバ  
 活動ハ猶豫ナリ報告セラレガニ下カテサシ事ハ法令ニ已  
 リテ備フテシガニ下カテス。法令ハ又增加英行ヨリ引出

サレタル東利益ハ英蘭銀行ニヨリテ國庫ニ引渡サシニ  
 カサシ事ヲ規定スルヲ要ス。

第三

其等ノ嚴重ナル事配ト關連ニテ吾人ハ該案ノ規

準準備ト金ヲ分離セシ株本銀行ニヨリテ保存セラレバ  
 準備金ノ問題ヲ考察セリ。金ノ内國流通ヲ回收スル事ニ  
 休才吾人ハ何等ノ劃スル所ナキヲ以テ有用ナル目的ハ各  
 種ヲ維持シ糾帯英行ヲ即長スル場所ニ英蘭銀行ニヨリテ  
 更ニ有効ナルニ用ヒラレ得ル所ノ株本銀行ノ蓄積セシ金  
 ニヨリテ~~糾帯~~連シ保ラレガニ下シ。若シ必要ナル場合  
 ニハ何處ニテモ英蘭銀行ニ於テ割引ニ且テ緊急通貨ノ裝  
 行ノ根柢ヲ形米ニ保シ大藏省証券及ヒ他ノ短期政府証券  
 ノ形ニテ其等ノ銀行ノ預金ノ割合ヲ條ノ事ヲハ其等ノ  
 銀行ニ要求スル所ノ問題ヲ探攷セリ。然レ吾々ハ力カ

凡準備ヲ保有スルノ事ヲハ都度已リ考ルルニモ一トモ  
其ノ事ニ付テハ法律ノ規定ヲ設ケル事ハ望ムルカ  
一統御ニ達スルニモ一トモ。在リ一月ノ間銀行家一團  
ニ一度作ルルニ備蓄計照表ノ平均ヲ示ス附録中一報告  
書ノ形中ニテ將來月利明細書ノ発行ヲ要求セリトモ  
銀行家委員會ヲ推選スル事實ニ付テモ人ハ任意ヲ向ケ  
ルルヲ得ズ。而シテ人ハ比ノ推選ニ全然一致ス。  
資產ノ記録ハ

"Government Securities maturing within 18 months"トモ  
下ニ列ケル

"Money at call & at short notice"トモ後ニ加リ以テ敷衍セ  
ルル下カヲカニ事ヲ主張ス。若シ之ガ十カニ十カモ  
人ハ困テ生ズル表ニモ人ハ埋メ固め確立セシメ得ル

事ト思フ。

第十一章。無準備銀行及ヒ金準備額。

備額。

第一。前章第一節ニ於テ述ベタルニ從ヒ無準備銀行ノ  
額ハ法律ヲ以テ制限セラルルノ類ニ定メラルルカ  
ヲガニ一統御ヲ要スルニ依リテ之如何ナルニ比シ  
無準備銀行ノ大ナルヲ要スルカヲ考察セラルルカヲ示ス。

第二。有効ナル金本位制ノ回復ヲ期スルニ付テハ  
貸ノ使用ノ間ニテ銀行業務及ヒ社会ノ風習ノ傳習ノ十ニ  
本位制ヲ示スルニ由リ。流通セラルル得ル法債ノ額(補助  
債ノ際中)ハ諸銀行及英蘭銀行ノ金融部ニ於テ保有スル通  
貨ヲ包含シテ自御的ニソレ自身ヲ決定スルニ由リ。何トシ

レハ若シ通貨が過剰ニナリテ割引率ハ下落シ、而シテ輸出  
 價格ハ上騰シ、紙幣ハ輸出ノ夕メニ金ト交換セラルシテ輸出  
 セラシ、通貨ノ數ハ夫々減少スルニ至リ以テナリ。一  
 又、若シ通貨ノ需要ニシテ通貨ノ要求以下ニ下ルトセハ割  
 引率ハ上騰シ市價ハ下落シ金ハ輸入セラルシ新紙幣ハソレ  
 ト交換セラルテ取ラレシ。

第三。吾人カ通貨ノ總高ヲ實際ニ考テハ半配ノ下ニア  
 リテハ英國ニ於ケル金ハ華南銀行ニ於テ中央準備ノ内ニ  
 存セラルレシ。而シテ吾人ノ用テハ通貨十ニ其ノ一ノ廣義  
 ニ於テハ無準備銀行額比處ニ考テハ要ナキ補助貨ヲ除  
 キ及ビ殘高ニ當テハ其ノ準備ニ係存セラルレシ部分ニ在  
 ス。凡テ流通ハ極極的ニ決定セラルレシ以テ無準備銀  
 行ノ多クニ定メタル額ノ高キ時ハ夫々ケ準備銀行額ハ底

リナリ、從テ中央準備ノ額モ下レシ。而シテ又反社ニ  
 準備銀行及中央金準備ノ額ノ高キ時ハ夫々ケ無準備銀行  
 ハ存リナレキナリ。然レニ若シ無準備銀行カ通貨ニ  
 對スル其ノ要求ノ總額已リテ高キ數ニ定メラレタル時  
 ハ無準備銀行及ソレト共ニ中央金準備ハ流通界已リテ  
 其ノ額ヲ没スルナリ。故ニ無準備銀行ハ保證ナシ録ルニ  
 充テタル所ナク之定メタル力ヲ其ノ明白ニテ其ノ  
 預金ハ單ニ準備銀行カ幣ノ下ニ留テ事ノ一ニハ非ズシ  
 テ中央金準備ヲ構成スル巨額準備カ決シテ本位制ノ確度  
 ニ係テ不安ノ度ヲ造メシレカ如クニ下落セシメタル事  
 ヲ確クハテ實際ノ準備銀行ノ額ニ於テ之ニナリ。

第四。若シモ將來起ルハ新幣カ從前ノ新幣ヨリモ大  
 ナリナルカ明カナリナリ。第二章第六節ニ於テハ此ノ神

助債ヲ隔チテ約一億八千万磅現立一億四千万磅  
無準備銀行ノ第1金カ全然中央準備ニ上ル線ヲシテ  
以前ニ云ケル九百万磅ニ減少セリトナリ。其準備以外  
一総テ一金ニ非ズル代用紙幣政策カ完全ニ成功スル事ヲ  
己シテハ想像セズ也。一億万磅ノ中央準備ヲ有スル  
夕大ニ無準備銀行ハ八千万磅ニ減少セリトナリ。而シテ  
テ事實此ノ如クシトスルモ吾人ハ新前日ノカチテ千万磅  
ヲ備ヘ一金ヲ有セザル下力ヲ不。

第五。乍爾從前ノ新案ノ要求セシ所ハ前新案ノ表界市  
價ノ平準銀行準備金ニ換スル現立ノ準備の本位制及人々  
カ懐中ニ入レ若シクハ金ノ中ニ藏置セシ貨幣ノ額並ニ現  
金ノ代リニ信用操換ヲ利用スル事ニ依テ一人ノ風習此  
ノ三者ニ換係ヲ有セシモノナリ。嗣後表界ノ價格ハ永久

ニ非トモ永ク間大イニ高キ平準ヲ持續スル事ハ確實ニ  
シテ且又銀行カ彼等ノ法貨額ヲ保存スル夕大ニ高キ平準  
ヲトシ事ヲ望ム。更ニ又如何ニ銀行ノ小切手及ヒ其  
他ノ信用操換カ其擴張セザルニシテ<sup>二</sup>不<sup>一</sup>流運スル法貨ノ使  
用ニ於テ更ニ休メ加ヘテ下中至濟ハ國家收入ノ大部分  
ハ法貨ノ重要ナル信用者ヲ以テ銀取條階級ニ依リテ其  
セリ勝トシ事實ニ依リテ却テ互リ相殺セリ。  
其等ノ總テ一際固<sup>一</sup>法貨ノ額ヲ大ナクシテ傾向ナリ。  
而シテ其ノ法貨ニ對シテハ國家ハ金本位制ヲ維持シ絶  
ズ銀行準備金及一般流通ノ額ニテ新前ノ數ヲ遙力ニ越  
タシ<sup>正確</sup>所增加ノ數ハ至驗ニ依リテ決セ  
テ<sup>三</sup>得ル<sup>一</sup>トナリ。  
第六。吾人ノ意見ニテハ力カカル至驗ノ得ルニテハ

無準備銀行額ヲ正確ニ定ムル事ヲ要求スルハ危殆ナリト  
 思フ。 不必更ニ此種ノ準備ノ採用スル事ハ、金本位制  
 及ビ我國家ノ信用ノ保證ヲ保護スルヲ以テ是非トモ必要  
 ナル外、結局ハ大ナル範圍ノ金準備ノ蓄積ヲ求ムルニ  
 ナル時、代々ハ吾人ノ無一保ガレざる莫事也。 然ルニ非常ニ高  
 中額ノ採用スル時ハ、金本位制ヲ破壊スルニシ。  
 第七。 今レハ他ノ一方ヨリ其ノ問題ニ接近スル事ハ也  
 マシテ見ユルト同時ニ又流通(即チ黃蘭銀行ノ銀行準備ヲ  
 含メル)銀行準備及人々ノ所持セラルルモノ(セラルル無準備  
 銀行額)ノ於テ置イテ然ル後ニ吾人ノ中央準備ニ於テ  
 金ノ保有ヲ見ルヲ欲スル程ノ額ヲ試驗的ニ定ムルトスル  
 事モ也。 マシテ見ユ。 而モ中央金準備ヲ人々ノ如ク定ム

ラレタル額以下ニ多クトモ下ヲス事ナリト云。  
 第八。 前報年ノ金準備ハ黃蘭銀行ニ約三十八百五十  
 万磅、及ビ銀行社ニ人々ノ存スルモノ約一億二千三百万磅  
 ナリキ。 若シモ現在流通シワツル金ノ其ノ姿ヲ消シ又  
 ハ金ノ全部ノ中央組織ニ集中セラルルニシテ、何等カノ經  
 濟ハ其ノ移動性ノ増加ノタメニ何等カ支十カレベシ。 又  
 他方ニ要求セラレタル通貨ノ總計ハ疑モナリ増大スベシ。  
 從テ吾人ノ中央金準備ノ規準最厚額トシテ先ツ第一ニ

求ムラレタル額ハ一億五千万磅ナラザルベカラザル。 又  
 此ノ額ノ達セラレ且ツ同時ニ、少クトモ一年間完全ナル外  
 國為替ノ立場ヲ維持セラルル迄ハ機會ノアル場合ハ、其時  
 ニ準備セラルルモノ(紙幣)ノ發行ヲ少クスル政策ハ絶テ不  
 附隨セラルベカラズ。 平和ノ回復ニ伴フベキ至濟狀

体、夕メニ不正ナル剛直ヲ以テ、七ノ極端ナル注意ヲ以テ、此ノ政策ヲ採用スル事ハ必要ナリ。為替方冊一億五千万磅ノ最高準備額ノ根柢ニ規本的作用セム時ハ、立場ハ面ヒ無準備発行ノ範圍ノ中ニ即力ニソシカ存在スル如ク之限ナルヲシ。

第十二章 現在、銀行券ノ暫時、

減少。

第一。若シモ其業ノ半配カ採用セラルルナラバ其處ニニハ復償ノ完成セシ後ニ即ニ之ハハ、<sup>期</sup>同<sup>期</sup>カナル。而シテ其ノ完成ノ後向、至<sup>期</sup>同<sup>期</sup>ニ至リテ無準備発行紙幣ノ<sup>額</sup>一額カ絶<sup>ト</sup>ス比、準備ヲ維持スルニ至リテ流通ニ得ルヤヲ知ル途ハ、銀行券ノ現在ノ発行ハ、<sup>額</sup>一額カ減<sup>ト</sup>スルハ、即力ナ

リ。其ノ額ノ定メラルル途ハ未濟額ニ依テ年ニ三パーセントヨリ少ナカクザル割合ニテ無準備発行ヲ味カスルヤメニ<sup>額</sup>一額後出来ル<sup>ル</sup>方<sup>法</sup>ヲ講セザル下カクザル事及ビ一時<sup>的</sup>ノ緊急ヲ満足セシムルヲ<sup>一</sup>制度ニ從テ<sup>一</sup>ヶ月或ハ一年ノ<sup>一</sup>味<sup>一</sup>際ニ於ケル発行ハ從前ノ同時季ニ於ケル未濟額ヲ超過スルヲ許サレザル事ハ即力ニ<sup>一</sup>前ニ提出セラレタリ。吾人ハ確カナルソコニ<sup>一</sup>連續的ノ減少ニ注意スル事ハ非常ニ望マシキ事ト思フ。吾人ハ或嚴格ナル<sup>一</sup>法則ニ作用スル<sup>一</sup>實際的ナルヤ否ヤヲ疑ヒタリ。故ニ吾人ハ上述ノ政策ヲ一般<sup>的</sup>ニ推奉スルモナリ。吾人若シ味カセラレタリトスレバ或年ニ於ケル實際ノ最高無準備流通ハ第九章ニ於テ既ニ述<sup>レ</sup>タル<sup>一</sup>最<sup>大</sup>章<sup>十</sup>年<sup>既</sup>ニ<sup>一</sup>之<sup>一</sup>絶<sup>ト</sup>シ望年ハ法律最高額トナル<sup>一</sup>ト<sup>一</sup>ト<sup>一</sup>措<sup>テ</sup>事ハ<sup>一</sup>減<sup>ト</sup>降<sup>ト</sup>シテ<sup>一</sup>ハ<sup>一</sup>倉



ク同意ス。

第十三章 英商銀行、英行、正、銀行

英商銀行、置換、之、留、ス、

過度、一、準備、

第一。吾人、一、夕、大、之、殊、甘、心、居、ル、事、ハ、如何、之、シ、テ、銀行券  
 / 現行、行、ハ、英商銀行、之、正、リ、テ、維持、セ、ル、ル、ヤ、又何、時、十、廿  
 / 此、ヤ、ト、謂、フ、事、ナ、リ。無、準備、英行、一、釋、来、一、範圍、カ、定、ト、  
 / レ、以前、英商銀行、之、英行、一、事、ヲ、移、ス、事、之、何、等、力、ノ、粗、野、相  
 / ア、リ、シ、ナ、リ。故、之、吾人、ハ、從來、一、英行、ハ、政府、一、英行、ヲ、取  
 / リ、殊、ナ、ザ、ル、ト、カ、ヲ、甘、ル、事、ヲ、ス、ル、ル、ニ、ナ、リ。乍、然、起、リ  
 / ナ、リ、十、前、幕、幕、一、擴張、ハ、關、政府、一、担保、之、於、テ、ハ、新、銀行、券、ノ、  
 / 收入、ヲ、投資、ス、ル、ニ、シ、ル、ニ、ハ、非、ズ、シ、テ、現、行、ノ、如、ク、英商銀行

之、リ、糾、帯、ヲ、ト、ル、事、之、正、リ、又、ハ、銀行、券、準備、中、之、糾、帯、ヲ、保、存  
 / ス、ル、事、之、正、リ、テ、保、証、セ、ル、シ、カ、ル、ニ、カ、リ、相、事、機、會、一、存、在、セ  
 / ル、場、合、之、無、準備、英行、部、分、之、移、ス、ル、保、証、之、備、フ、ル、メ、大、之、生、ス、  
 / ル、様、之、同、様、一、半、段、カ、隨、伴、セ、カ、ル、ト、カ、リ、事、ハ、何、レ、也、推  
 / 考、ス、ル、能、ハ、甘、ル、所、ナ、リ。此、ノ、半、配、一、効果、ハ、新、通貨、一、需要  
 / カ、英商銀行、金、融、部、之、於、テ、ハ、準備、ヲ、減、加、ス、ル、メ、大、之、苦、通、一、  
 / ナ、シ、之、ヲ、作、用、ス、ル、ト、謂、フ、所、之、ナ、リ。而、シ、テ、準備、金、ハ、貸  
 / 幣、率、ヲ、引、上、ゲ、又、ハ、金、輸、入、ヲ、助、長、セ、ル、ル、事、之、正、リ、テ、回、收  
 / セ、ル、ル。

第二。カ、リ、シ、テ、中、カ、テ、吾人、ハ、一、部、ハ、現、在、保、証、セ、ル、ル、  
 / ル、ニ、十、百、五、十、万、磅、ヲ、以、テ、保、証、セ、ル、シ、他、一、部、ハ、英商銀  
 / 行、一、英行、部、之、於、テ、ハ、金、ヲ、以、テ、保、証、セ、ル、ル、英商銀行、糾、帯  
 / 之、正、リ、テ、担保、セ、ル、ル、銀行、券、ヲ、有、ス。殊、高、ハ、通、貨、之、謂、フ

銀行一無準備部分ヲ構成シ而シテ現在ノ如ク政府ノ担保  
 二二ノ準備也。過去ニ於テハ輸出金ノ需要ノ如何  
 十ハ割金ニ於テモ其ノ大部分ハ英蘭銀行ニ落テナリ。  
 ソハ銀行界ノ金目ノ實際ノ支拂ニ於テハ大十ハ範圍迄ハ  
 提供セリ得ルヲモ推シテ以テ十ハ。在而自今某ノ其定  
 一貸方ニ英蘭銀行ノ座ヲ設ケテ~~銀行界~~ヲ集メテ~~銀行~~  
 二二ノヲ掛込メシテ高ハリシニ二二ノヲ普通ノ場合ニ於テ  
 輸出ノヲメテ英蘭銀行ニ出金ノ必要ナラズニ於テ  
 也。三ノヲ作リシニ~~銀行~~從テ其人<sup>英</sup>蘭銀行界ニ同様ニ銀  
 行界準備ニ代用セリシガ~~銀行~~力ヲサシテ事ヲ起メシト思フ  
 而~~目~~<sup>毛</sup>目由下其ノ準備ニ保有セリシ辰ニ二百八十五万  
 磅ノ金ニ於テ新後直中ニ~~銀行~~財掛ノ方法ニテ日々ニ代用  
 也。三ノガ~~銀行~~力ヲサシテ地ニ~~銀行~~力ヲサシテ故ニ結局ヲ移ス

二ノ入リ得ルニ  
 二ノ入リ得ルニ  
 二ノ入リ得ルニ

第三。無準備銀行ノ部分ガ至點ニ至リテ英蘭銀行界

部ニ於テハ一億五千万磅ノ金準備ニ維持ニ相應ス上思ハ  
 此ノ額ニ減少セリシニ時ハ英蘭銀行ハ無準備銀行ハ其時  
 一政府界ノ担保ニ已リテ準備セリシニ銀行界英銀行額ノ  
 同時ニ増加スルヲ以テ、其ノ掛ハ~~銀行~~銀行界ハ流通界已  
 リ引退シ、而シテ座中筆位ノ英蘭銀行界ハ是ニ代ハレシ。  
 銀行界ニ於テハ銀行界準備及セ~~銀行~~座中保有セリシニ英  
 蘭銀行界ハ既ニ銀行利差ニ表ハレ~~銀行~~キヲ以テ結局一聯  
 合ノ此ノ利差ニ基テ結果ノ己ガ英蘭銀行界一無準備部  
 節ノ額ヲ英蘭銀行ノ金準備ニ加~~銀行~~且~~銀行~~政府担保ノ同  
 額ヲ英銀行部ニ於テハ担保ニ加~~銀行~~也。

第三。大藏省ト英蘭銀行間ニ於ケルカ如キ決済ハ流通  
 中ヨリ同銀行ニヨリテ引出サレタリル銀行券ノ同額ト交換  
 ニテ銀行券勘定ノ貸トシテ存セラルル英蘭銀行券ヲ同  
 銀行ニ交換スル形ナリトシ。而シテ又政府ノ担保ヲ引出  
 其銀行券ノ引リ一モ一ノ換ニテ元同額ナリ。其等ノ担保  
 ハ方陸及ビ半段カ進行スルカ或ハ大藏省証券又ハ普通一  
 般負債ノ部分ナリ地ノ有者ナリ担保ナリナリナリナリ  
 ナリ又現在ノ市價ニトシテナリナリナリナリナリナリ  
 ナリ銀行券回収勘定ノ貸者一或一カ其等ノ範圍中  
 ニ入り得ルナリ百ハ担保ハ大藏省及地ノ代用セラルル担保  
 ニヨリテ保持セラルルナリナリナリナリナリナリナリ  
 都ハ流通中ヨリ引出タリナリナリ銀行券ノ代リニ英蘭銀行  
 ニヨリテ銀行セラルルニシ。而シテ一部ハ銀行券洋幣既ニ

英行券ニ於テ金ヲ以テ準備セラルルナリナリナリナリ  
 ニ歸ルルナリ英蘭銀行紙幣ノ代リトシテ英行ナリ地ノ一部  
 ハ形轉セラルルナリ担保ニ基礎付ケラルル英蘭銀行ノ新無  
 準備英行ノ換ニテ英行セラルルニシ。増大セリ無準備英行  
 利差ハ銀行ニヨリテ國庫ニ支拂ハレシナリナリ

第十四章 結語

第一。吾人ノ須要ナリ結論ハ大体次ノ約説ニ得ル

第一。前ニハ吾國ハ完全ナリ且有効ナリ金本位制ヲ存シ而シ  
 ナリ八百四十四年ノ銀行令ノ條項ハ機械的ニ逆為替ヲ正  
 スナリ且不法ナリ信用ノ擴張ヲ妨止スル種ニ作用セリ  
 第一章第一節五ノ第六節迄

第二。歸時中其ノ制度ノ維持ニ必要ナリ條件ハ存在セ

ガリキ。其、主たる原因ハ、戰時必要品ヲ得ルヲメテ政府  
カ英蘭銀行及他ノ銀行ヨリ資金ヲ借用セシメ、メテ信用ノ  
増長ナリ。結局紙幣ヲ発行スルニ至ルハ此ノ信用ノ増加  
ニ至ル必然ノ結果ニシテ且必要條件中ノ第一節。

第三。吾人ノ意見トシテハ、戰後有効ナル金本位制ノ維  
持ニ必要ナル条件ハ猶豫ナク回復セシメルハ力ヲ加メ  
事ハ必須ノ事ト爲ルナリ。永ク同一経験ニヨリテ貿易  
ノ逆平衡及ビ信用ノ陥外ナル擴張ヲ救済スル唯一ノ方法  
ナリト認メラレシメ、機關ガ今一度活動スルニ非レバ、益々増  
大スル信用ノ擴張ナル事大ナル危機ヲ生ジ、其ノ結果吾人  
幣策ヲ一見換力ヲ味味スル金、外國溢出生ジ、ソレニ至  
リテ英國ノ國際的貿易ノ地位ヲ免除ニ曝スナリ。第三章

第四。有効ナル金本位制ヲ回復スルヲメテ先決問題ハ

即チ次ノ事ナリ。

A. 戰後可成の早ク政府ノ借用ヲ停止スル事。

最モ早ク、輸入内ニ適者ナル秘密積立金ヲ準備  
スル事ヲ吾人ノ薦ムルニ至リ。故ニ實  
本負債ニトリテハ年々定期ニ減少ヲ来ス事  
ナリ。

特ニ流動資本負債ニ於テ然リ。第四章  
戰前ニ於テハ金ノ外國流出ヲ妨止シ且ツ英國ニ  
於テニ信用ノ投機的増加ヲ妨テ、其ノ機關即チ

英蘭銀行ノ割引率ヲ高騰セシメ且有効ナリ  
シルニ極力ハ作用非順序ヲ保テ、其ノ力ヲ  
ス。此ノ必要ハ戰後内外貨幣ニ對シテ差別率ヲ

續行スル何事カ、試ミ、之ニヨリテ避テ、其ノ能ハ  
其ノ力ヲ一ニシテ且避テ、其ノ力ヲ一ニシテ

五章、第六節

c. 照準備紙幣、銀行ハ、出来ルナリハ、今一度法律ニ  
 云リテ制限セラルベキナリ。而シテ英蘭銀行  
 之於テハ、預金カ金融部ノ積立ニ影響ヲ與フニ  
 事ナリ。之ヲ法律ト交換セラル得ルカ如キ現在  
 ノ設備ハ、最モ早ク限定セラルガニ、力ヲ及ス。  
 銀行券ニ関スル從來ノ設備及蘇格蘭愛蘭(是ニ  
 依テハ、吾人カ大英國ノ其等ノ部分ニ影響ヲ與  
 フル問題ヲ解決スル時ニハ、是ヲ提出セラルベ  
 カラガレドモ)ニ関スル特殊ト設備ニ從ヒテ  
 紙幣發行(現在ノ個人英行ニ関スル部ヲ除キハ  
 英蘭銀行ノキニ)全然オカレガレ、力ヲ及ニ事  
 ナリ。吾人ハ力税スルモ、ナリ。

紙幣ハ、倫敦ニ於テノ支拂ハ、力ヲ及  
 ニ、力ヲ及ソレハ英國ヲ通ジテ、法律ヲ及  
 ニ、力ヲ及ス(第七章)

第五。

紙幣發行ノ監理ニ関シ吾人ハ、次ノ注意ヲナス。

(一) 英蘭紙幣及英蘭銀行券ハ、要求ニヨリテ金ニテ  
 支拂ハルベキ義務ノ維持セラルル間ハ、金貨  
 ノ内國流通ハ、速カニ回收セラルベキ力ヲ  
 及ニ事ハ、必要ニハ、此ニト英ニ又電マシテ  
 此ニト(第八章第二章)

(二) 金ノ輸入カ何等ノ制限ナク自由ナレ、中間  
 英蘭銀行カ、金輸出ヲ認メタル事ハ、候  
 利ニテ、且、金地金ノ輸出ハ、其等ノ地金カ  
 或目的ノ文字ニ銀行ニヨリ條件ニ從ハ

ガニハカヲガニ事ハ吾人ノ推奉スル所ナリ

英商銀行ハ其ノ紙幣ト交換ニテ輸出金ヲ供給

スル義務ヲ有セガニハカヲ不<sub>(第八章第三節)</sub>

(三) 通貨ヨリ金ヲ引出ス事ニ関シテ吾人ハ吾國ノ

金準備ハ或一ノ中央機關ニ保存セリ

且ソ凡ソノ銀行ハ目下英商銀行ニ保存スル

或金ヲ振替ヘガニハカヲガニ事ヲ推賞スル

元ノ十<sub>(第八章第四節)</sub>

以下全部

第六。無準備発行ノ根本<sub>(第八章第五節)</sub>ニ依リ吾

人ノ前ニ置カレタニ種々ナル問題ヲ熟考セリテ以テ吾人

ハ千八百四十四年ノ銀行令ノ原則ハ維持スルヲ要スル事

ヲ薦ム。即チ紙幣ハ金ト交換<sub>ニ</sub>於テノ之ヲ發行セリ

ガニハカヲ不<sub>ト</sub>得<sub>テ</sub>事ヲ起<sub>テ</sub>テ無準備紙幣ハ發行セリ

ガニハカヲガニ事ハ吾人ノ推奉スル所ナリ。英商銀行ノ發行部及金

融部ハ從前ノ如ク分離セリガニハカヲガニ事ハ吾人ノ推奉スル所ナリ。

毎週ノ~~報~~ 回收ハ現在ノ形式ニテ表志セリハカヲガニ事ハ吾人ノ推奉スル所ナリ。

(第九章)

第七。乍然此ノ報告書ノ本體タル第三章ニ於テスル

ヲレタル確カニ保護ニ從ヒテ緊急ナル準備ハ強制<sub>的</sub>ニ持

續セリハ中事ヲ吾人ノ薦ムル元ノ十<sub>(第八章)</sub>ノ其ノ第三章ニ

述ビタル紳紳銀行券集令ノ下ニ於テハ英商銀行ハ大藏省

ノ同意ニ依リ紙幣規定ヲ起<sub>テ</sub>テ<sub>テ</sub>紙幣ヲ發行ニ得ルナリ。

第十章 第一節

第八。前記ノ形式ニテ銀行ハ月々説明書ヲ發行スル

事ヲ吾人ノ主張ス<sub>(第十章第二節)</sub>

第九。是ニ於テ吾人ハ爾後直ニ無準備発行ニ對シテ

或嚴格十の爲額ヲ維持實際之定りハキ統制之達也。(第十一  
章第一節)已リ第五節迄。

第七。故ニ中央銀行準備ノ如ク、心掛ク下キ額ヲ定ム  
ル事ハ地マニキ事ト吾人ハ思フ。而シテ中央銀行準備ノ心  
カクニテ定ムラレタニ額以下ニ切リ下ルニ極ニスル可  
ナリニテ流通セリ得ル如キ額ニ結局無準備銀行が決  
セラレ。吾人ハ心掛ケザレハ力ヲ加ル中央銀行準備ノ規  
一最爲額ハ一ノ場合ニハ一億五千万磅十ニハキヲ提案  
ス。此ノ額ニ達シ而シテガク凡一年<sup>第2</sup>日外國爲替ノ立場  
ヲ満足ニ維持セラレ。迄ハ無準備紙幣發行ノ大ノ減少  
スル政策ガ随伴スル也。此ノ減少ガ効果ヲ奏シタニ時ハ  
昨年ニ於ケル實際ノ最高無準備通貨ハ其ノ翌年ハ法律上  
ノ最高額トナレ。唯以前ニ主張セル際急ニ準備ヲナス

場合ニ一ニ從テ、爲替が一億五千万磅ノ最爲準備ヲ根本ト  
ニテ規準ニ作用シワアニ時ハ其ノ地位ハ固ニ無準備紙  
幣ノ範圍ノ立場ヨリ見ラレ。概モソレカ存在セリ如クニ  
第十一、第二章、第六、七、第十、第二章。

第十。吾人ハ無準備銀行ノ將來ノ範圍ガ認めラレシ  
迄ハ現在ノ銀行準備額ガ英蘭銀行ニ移ル事ヲスルニ此  
ノ二ハ非ズ。從來ニ銀行ハ政府ニテナシ。然レニ新  
銀行ハ政府ノ担保ニ依リテニハ非ズシテ英蘭銀行ニ依  
テ發行セラレザレハ力ヲ加レ、且又通貨ノタメノ準備  
係証ガ準備セラレル極限ガ生カレ時ハ英蘭銀行紙幣ハ又  
此ノ目的ノタメニ用ヒラレザレハ力ヲ加ス。新通貨ノ需要  
ハ規準ノ方法ニテ是ヲ以テ英蘭銀行ノ金融部ニ委託シ  
ル。(第十三章第一、二節)

附 録。

第十章 = 引用セラルタル 附録ヲハ 原形ニテ表ハスヲ更ニ註ト考フルヲ以テ是ニソレヲ寫記セシム。

Proposed Monthly Statement to be Published by Banks.  
Statement of the average figures of the weekly Balance Sheets during the month of

Liabilities.	Assets:
Capital :-	Cash :-
Registered £	(1) Coin, Bank & Currency notes,
Subscribed £	& Balances with the Bank of
Paid up ----- £	England ----- £
Reserve Fund -----	(2) Balances with London Clear-
Current, Deposit, and --	ing Agents & with other Banks,
other Accounts £ -----	Bankers, or Banking Companies
Acceptance . . . . .	in the United Kingdom ----- £
Endorsements, Guarantees	(3) Items in transit ----- £
and other obligations ---	
Notes in Circulation ---	Money at Call and at Short notice
	British Bills of Exchange -----
	Foreign Bills, Foreign Bank Bills
	and Domiciled Bills -----
	Balances abroad -----
	Investments :-
	(1) Securities of, or guaranteed by, the
	Government -----
	(2) Indian & Colonial Government
	Securities, British Corporation
	Stocks, British Railway Debentures
	& Preference Stocks -----

第十 二	無 準備 銀行 部 令 が 至 該 二 日 一 億 五 千 萬 磅
一 中 央 金 庫 ヲ 維 持 ス ル 事 ニ 一 致 ス ル 也 ヲ 以 テ 一 億 五 千 萬 磅	ノ 事 ニ 一 致 ス ル 也 ヲ 以 テ 一 億 五 千 萬 磅
以 時 ハ 未 拂 ノ 銀 行 部 令 引 込 ス ル 要 人 ノ 述 ハ テ ハ ニ 詳 細 ナ ル 方	以 時 ハ 未 拂 ノ 銀 行 部 令 引 込 ス ル 要 人 ノ 述 ハ テ ハ ニ 詳 細 ナ ル 方
法 ノ メ ニ 存 中 單 位 ノ 美 蘭 銀 行 紙 幣 ニ ヨ リ 子 息 換 セ ル 也	法 ノ メ ニ 存 中 單 位 ノ 美 蘭 銀 行 紙 幣 ニ ヨ リ 子 息 換 セ ル 也

小樽高等商業學校商業實踐科



~~137~~

(3) other investments - - - - -  
Loans and Advances - - - - -  
Other Assets - - - - -  
Bank Premises - - - - -  
Liabilities of Customers for Acceptance  
as per contra - - - - -  
Liabilities of customers for Endorsement  
Guarantees and other obligations  
per contra - - - - -

£